



県道藤岡本庄線(藤岡工区) 電線共同溝



大栃1-2地区 かけ崩れ対策



県道前橋長瀬線(神田工区) バイパス整備

よ く わ か る 公 共 事 業

～ 公共事業 の 目的、効果、進捗状況 を 情報発信 ～

多野藤岡地域

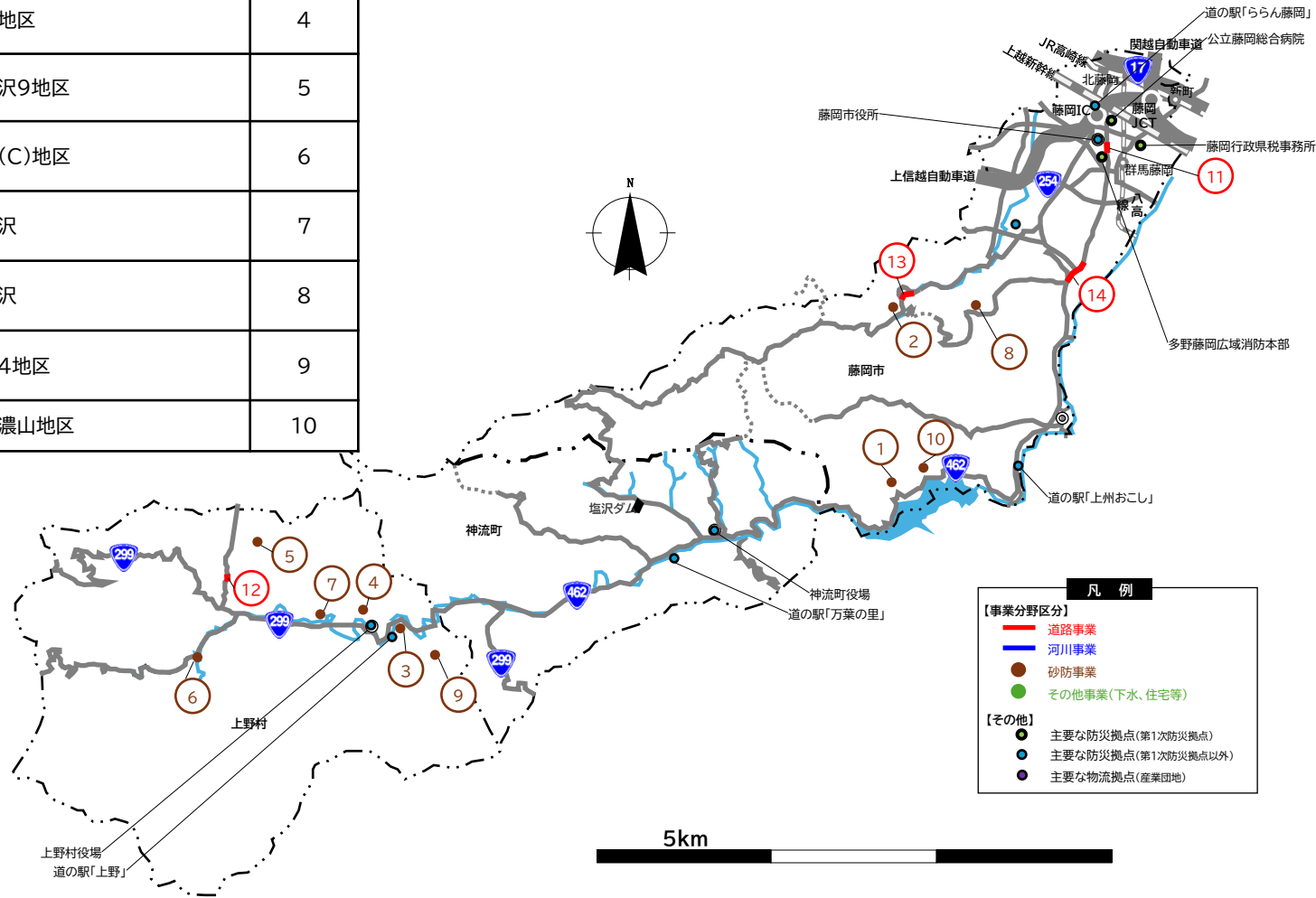
令和7年度版

多野藤岡地域



番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
1	がけ崩れ対策	藤岡市坂原	大栃1-1地区	1
2	地すべり対策	藤岡市下日野	駒留地区	2
3	がけ崩れ対策	上野村新羽	向屋2地区	3
4		上野村乙母	乙母地区	4
5		上野村檜原	塩之沢9地区	5
6		上野村檜原	三岐(C)地区	6
7	土石流対策	上野村乙父	森戸沢	7
8		藤岡市高山	沢口沢	8
9	がけ崩れ対策	上野村新羽	野栗4地区	9
10	地すべり対策	藤岡市保美濃山	保美濃山地区	10

番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
11	交差点改良	藤岡市中栗須	県道藤岡本庄線(中栗須藤岡境交差点)	11
12	現道拡幅	上野村檜原	県道下仁田上野線(上野工区)	12
13	バイパス整備	藤岡市下日野	県道上日野藤岡線(黒石工区)	13
14	歩道整備	藤岡市神田	県道前橋長瀬線(中神田工区)	14



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵と法枠をつくります

地元の声

・がけ崩れによる被害が不安なため、対策をしてほしい。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: 藤岡市坂原
- 事業内容: 防護柵工 L=98m・法枠工A=1011m²
- 事業期間: 令和元年度～

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 防護柵・法枠をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

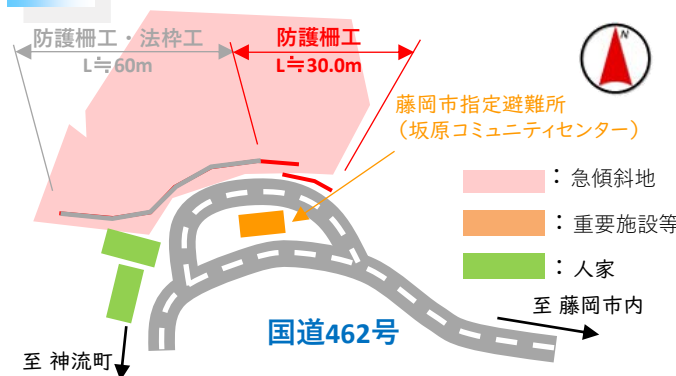


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	2戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (坂原コミュニティセンター)
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (国道462号)

実施後(目標)
0戸
0施設
0箇所

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度も、引き続き防護柵工を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地元の声

- ・近年、全国で毎年のように土砂災害のニュースを見て不安です。(地元住民)
- ・もし地すべりが発生したら県道の寸断による孤立が不安です。早く対策を。(地元住民)

地すべり防止施設をつくります

事業の概要

- 事業箇所: 藤岡市下日野
- 事業内容: 集水井工 9基、横ボーリング工
- 事業期間: 平成26年度～

※ 集水井(しゅうすいせい)とは、地すべりの原因となる地下水を、井戸を掘って効率的に集水し、安全に排水するものです。

事業前

- ◆ 平成19年の台風の豪雨により地すべりが発生し、市道の擁壁などに被害が発生しました。



市道擁壁のクラック

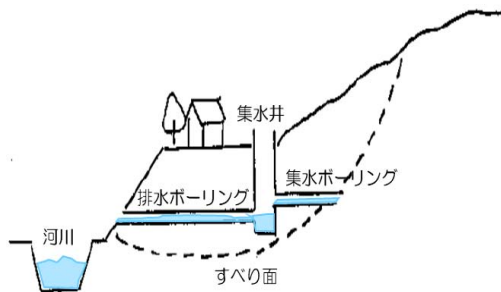


斜面頭部の滑落崖

事業前の状況

事業後

- ◆ 集水井を整備し地下水を排水することで、地すべりによる被害のリスクを軽減します。



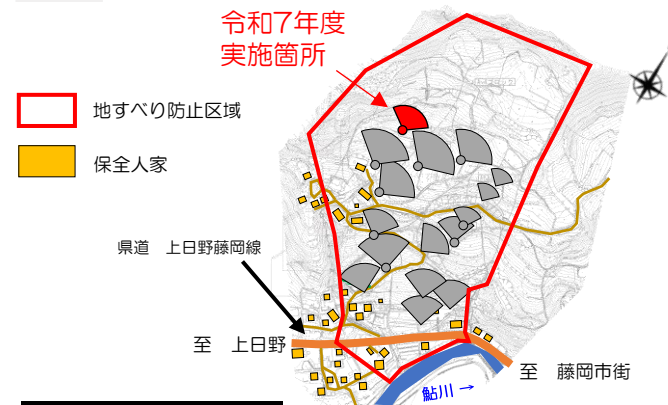
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	29戸
被害を受けるおそれのある迂回路のない道路	1箇所 (上日野藤岡線)

実施後(目標)
0戸
0箇所



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度も、引き続き地すべりの観測と集水井の工事を実施します。



R6実施箇所の集水井

事業継続中

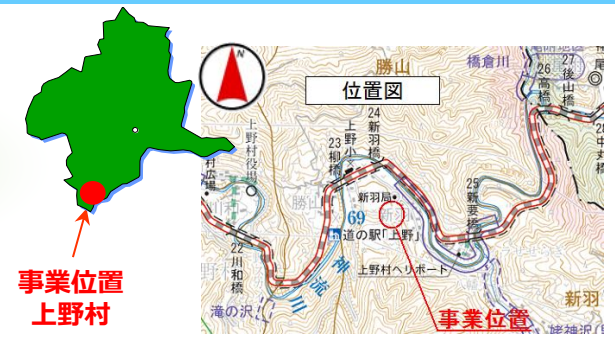
どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵をつくります

地元の声

- ・大雨の時、危険を感じたため、かけ崩れや落石への対策をしてほしい。(地元住民)
- ・安心して避難できる場所がほしい。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: 上野村新羽
- 事業内容: 防護柵工 L=166.5m
- 事業期間: 令和元年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 防護柵をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	5戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (新羽公民館)

実施後(目標)
0戸
0施設

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は防護柵工事を実施し、対策を推進します。

- 急傾斜地
- 重要施設等
- 人家



事業のすすみ具合



事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁をつくれます

地元の声

・人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: 上野村乙母
- 事業内容: 擁壁工 L=77.1m
- 事業期間: 令和3年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 擁壁をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

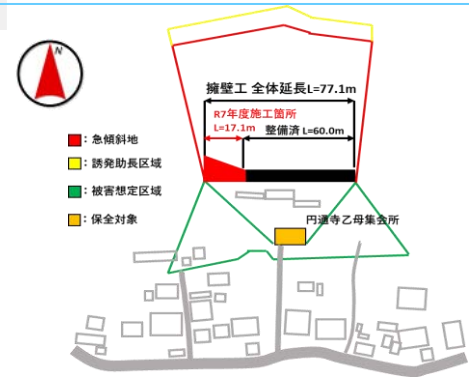


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (円通寺乙母集会所)

実施後(目標)
0施設

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は擁壁工事を実施します。



事業のすすみ具合



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵を
つくります地元
の声

・人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 上野村大字檜原
- 事業内容: 防護柵工 延長63m
- 事業期間: 令和3年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 防護柵をつくることにより落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目

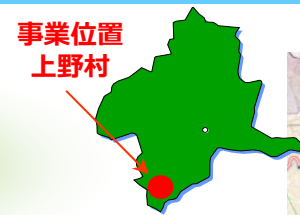
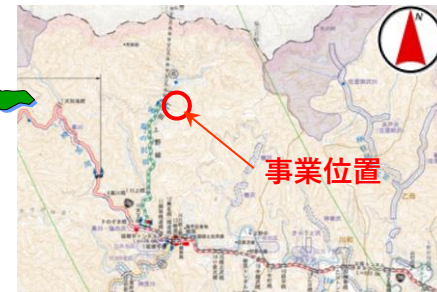
実施前

被害を受けるおそれのある重要施設等

1箇所
(やまびこ荘)

実施後(目標)

0箇所

事業位置
上野村

事業位置

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度も対策工事を進めていきます。



事業のすすみ具合

事業開始●

●●●●● 事業完了

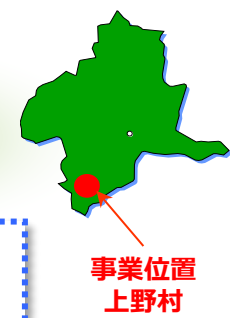
どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地元の声

・人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい(地元住民)

防護柵と法面工をつくります



事業位置
上野村



- 事業の概要
- 事業箇所: 上野村檜原
 - 事業内容: 防護柵工 L=92m 法面工 A=2,215.6m²(防護柵工、モルタル吹付等)
 - 事業期間: 令和3年度～

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



被害想定区域

事業前の状況

事業後

◆ 防護柵・法面工をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

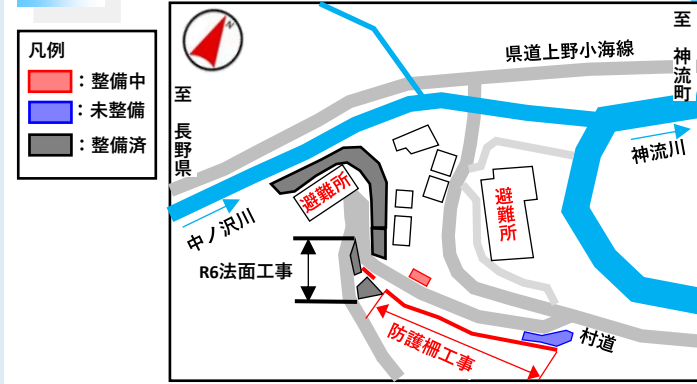


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	5戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	2施設 (木森れ陽、しおじの湯)

実施後(目標)
0戸
0施設

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は防護柵工を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります地元
の声

・大雨のとき、土砂が流れ出てくる可能性があるので、とても不安である。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：上野村乙父
- 事業内容：砂防堰堤1基
- 事業期間：令和4年度～

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	26戸
被害を受けるおそれのある重要施設	1施設 (乙父公会堂)

実施後(目標)
0戸
0施設

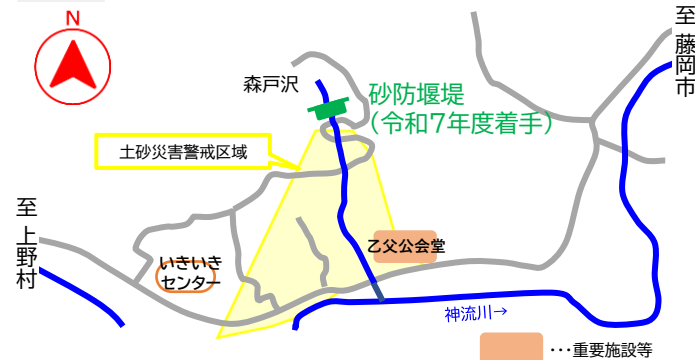
事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

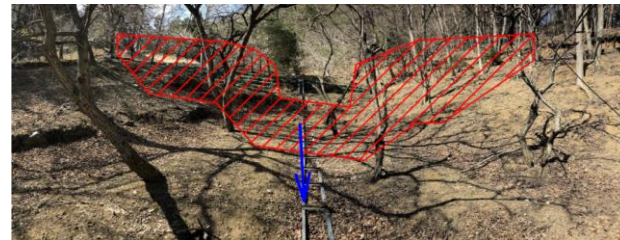
事業位置
上野村

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は用地買収、堰堤本体工事、管理用道路工事を推進します。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

土石流対策施設を
つくります

地元
の声

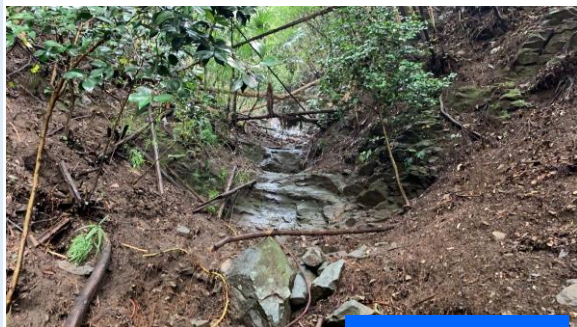
・大雨のとき、土砂が流れ出てくる可能性があるので、とても不安である。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 藤岡市高山
- 事業内容: 土石流対策施設 1基
- 事業期間: 令和4年度～

事業前

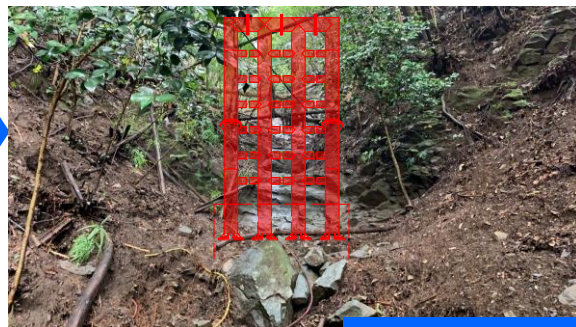
- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



荒廃状況

事業後

- ◆ 土石流対策施設の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	6戸
被害を受けるおそれのある迂回路のない道路	1箇所 (県道下日野神田線)

実施後(目標)
0戸
0箇所

事業のすすみ具合

事業開始



事業完了



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は用地測量を実施します。



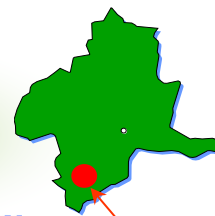
どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地元
の
声

・人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい(地元住民)

擁壁と法枠を
つくります



事業位置
上野村



事業の概要

- 事業箇所: 上野村新羽
- 事業内容: 擁壁工、法枠工
- 事業期間: 令和3年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 法枠により斜面を安定させ、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

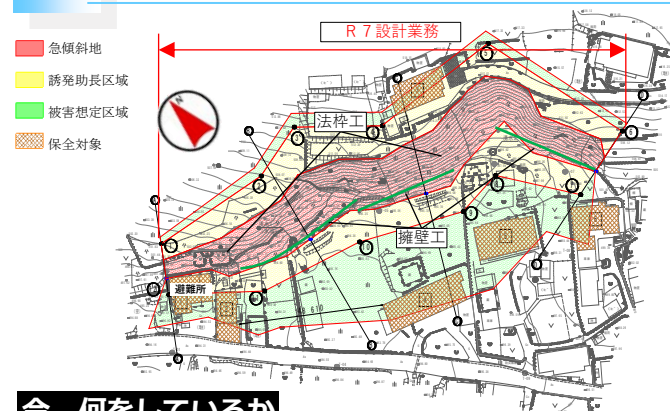


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受ける人家	5戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (野栗公会堂)

実施後(目標)
0戸
0施設

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は設計業務を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始



事業完了

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地すべり防止施設を
つくります

地元の 声

- ・地すべりにより国道が寸断されると孤立してしまうので早めの対策をお願いしたい。(地元住民)
- ・毎年のように土砂災害のニュースを見て不安です。安心して暮らせるよう対策を。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 藤岡市保美濃山
- 事業内容: 集水ボーリング工
- 事業期間: 令和4年度～

※ 集水井(しゅうすいせい)とは、地すべりの原因となる地下水を、井戸を掘って効率的に集水し、安全に排水するものです。

事業前

- ◆ 当該箇所は平成23年に概成しましたが、令和元年東日本台風後に区域内の旧美山小学校(現フットサル場)で地すべりに起因する隆起が見られるようになったため、事業を再開しました。

区域全景



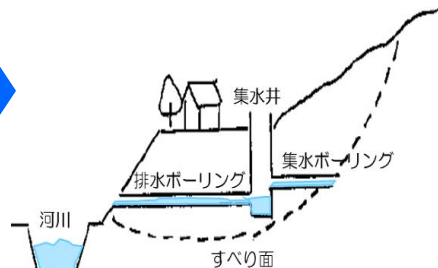
地盤隆起状況



事業前の状況

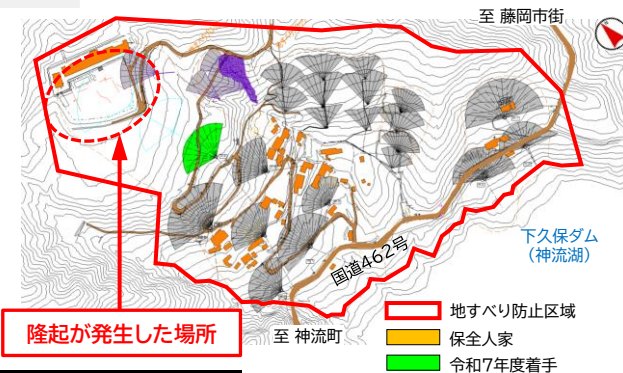
事業後

- ◆ 過年度整備済みの集水井内に集水ボーリングを追加整備し、地下水を排水することで、地すべりによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度も、引き続き地すべりの観測と集水井(集水ボーリング)の工事を実施します。



過年度実施箇所の集水井

成果を示す項目

実施前

被害を受けるおそれのある人家

22戸

実施後(目標)

0戸

県道藤岡本庄線（中栗須藤岡境交差点）交差点改良事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

地域の円滑な通行を確保するため

右折レーンを
設置します

地元の
声

・交差点に右折レーンを設置して渋滞を緩和してほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：藤岡市中栗須～藤岡
 - 事業内容：交差点改良 延長230m、幅員12m
 - 事業期間：平成28年度～
- 現在の交通量：11,151台/日（自動車）（R3年度）

事業前

◆通勤時間帯を中心に、中栗須藤岡境交差点で右折車両による交通渋滞が発生しています。



事業前の状況

事業後

◆右折レーンを設置することで、右折車両の滞留を防ぎ、円滑な通行空間を確保します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
渋滞損失時間の削減量	0万人時間
一方向あたりの最大渋滞長	370m

実施後（目標）
1.5万人時間
0m

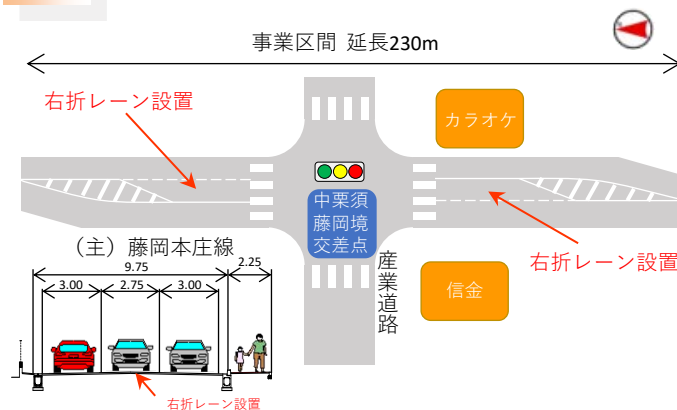
事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は、用地買収を進めると共に拡幅工事を実施します。



県道下仁田上野線（上野工区）現道拡幅事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

道路を拡幅します

地元の声

- ・地域間交流促進のため、下仁田町～上野村の地域間の連携を強化してほしい（地元住民）
- ・道路の幅員が狭く、車両がすれ違うときに危険を感じる（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：上野村檜原
- 事業内容：現道拡幅 延長 330m 道路幅 6.5m
- 事業期間：平成28年度～
- 現在の交通量：802台/日（自動車）（R3年度）

事業前

- ◆ 道路の幅が狭く、大型車のすれ違いが困難なため、円滑な通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 道路の幅を広げ、大型車のすれ違いを容易にすることで、円滑な通行空間を確保します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
車両同士のすれ違い	すれ違い困難 (幅員 4.0m)



実施後(目標)
すれ違い容易 (幅員 5.5m)

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、道路改良工事を推進します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●



.....● 事業完了

県道上日野藤岡線（黒石工区）バイパス整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

バイパス道路をつくります

地元
の声

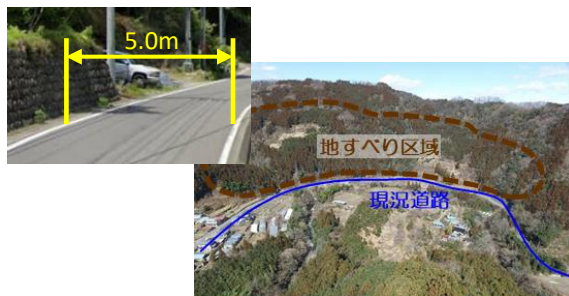
- ・この区間は災害で寸断される恐れがあるので、早く整備してほしい。（地元住民）
- ・この区間は急なカーブが多く車の運転が危険なので、バイパス整備に期待します。（地元住民）
- ・道幅が狭く車両のすれ違いが危険な箇所があるので、安全なバイパスを整備して欲しい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：藤岡市下日野
- 事業内容：バイパス整備 延長 0.6km 道路幅 7.0m
- 事業期間：平成27年度～
- 現在の交通量：2,849台/日（自動車）（R3年度）
- 計画交通量：3,660台/日（自動車）（R12年度）

事業前

- ◆ 現道沿線は、地すべり区域が存在しているため、斜面崩落などの災害発生により道路が寸断されるおそれがあります。
- ◆ 現道には急なカーブや道幅が狭い区間が存在し、安全な通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

- ◆ バイパス道路をつくることにより地すべり区域を回避し、道路の寸断を未然に防止します。
- ◆ 道路の線形や道幅が改善され、安全な通行空間が確保されます



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
車両同士のすれ違い	すれ違い困難（幅員5.0m）
落石危険箇所	4箇所

実施後（目標）
すれ違い容易（幅員7.0m）
0箇所（4箇所減少）

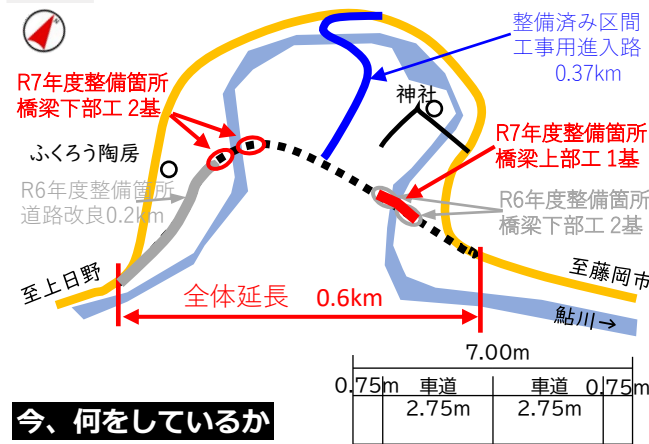
事業のすすみ具合

事業開始

事業完了



事業の進捗状況（令和7年3月末現在）

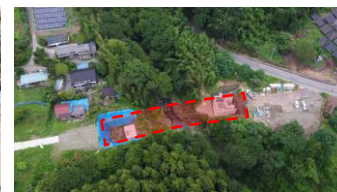


今、何をしているか

令和7年度は橋梁下部工及び上部工、道路改良工事を実施します。



（仮称）黒石1号橋下部工箇所



（仮称）黒石2号橋上部工箇所

県道前橋長瀬線（中神田工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元
の声

- ・歩道がなく、大型車が多く通るため危険である。（地元住民）
- ・高校生が市街地方向へ通学しているが、路肩が狭く危険である。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：藤岡市神田
- 事業内容：歩道整備 延長390m、歩道幅員2.5m
- 事業期間：令和4年度～
- 現在の交通量：9,042台/日（自動車）
8人/12時間（歩行者）
42台/12時間（自転車）（R3年度）

事業前

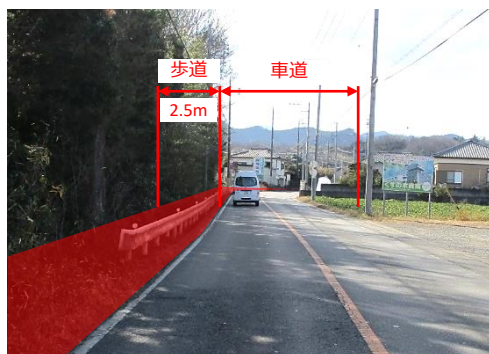
- ◆ 歩道が無く、自転車も狭い路肩を走るため、通学することもと自動車の接触など危険な状況です。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道を整備することで、歩行者と車両の通行空間が分離され、歩行者と自転車の安全が確保されます。



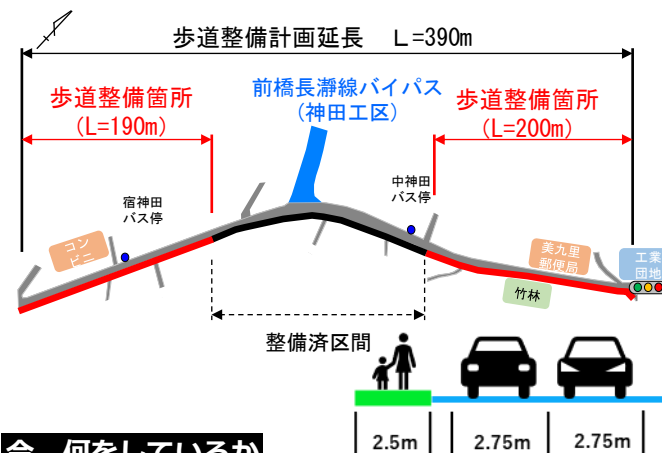
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
法指定通学路の歩道整備率	0%
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後（目標）
100%
100%



事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は用地取得と工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了